

<p>カセットテープ 全1巻 定価 (本体価格2,913円+税)</p> 	<p>CD 全1枚 定価 (本体価格2,913円+税)</p> 
--	--

お近くの書店でご注文いただくか、郵便振替
(00140-2-46008)でお申し込みください。

Eye-opening Facts

---Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy---

Copyright ©2005 by Asahi Shuppan-sha

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any form without prior written permission from the authors and the publisher.

Printed in Japan.

The authors and the publisher are grateful to the following for permission to reproduce quoted passages: Reader's Digest UK for Lessons 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13 and Further Readings 2, 3, 6, 7, 11, 12, 13 from *Facts of Life*; Cool Quiz Network, Inc. for Lesson 1 and Further Readings 1, 5, 10; Houghton Mifflin Company for Lesson 8 and Further Reading 8 from *The New Dictionary of Cultural Literacy*; Chuck Moreland for Lesson 14 and Further Reading 14 from *Origin of Phrases*; Kevin J. McElwee for Further Reading 4 from *Why is hair colored?*; Astro Energetics for Further Reading 9 from *A Brief History of Astronomy and Astrology*.

Published by Asahi Shuppan-sha

3-3-5 Nishi Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0065 Japan

Phone (03) 3239-0271 / Fax (03) 5213-9283

E-mail: text-e@asahipress.com

URL: <http://www.asahipress.com/text>

Photographs by REUTERS · SUN

は し が き

最近高校の必修科目が減らされている。数学9単位が2単位へ、理科12単位が5単位へと減らされ、それに代わって「ゆとりの時間」を設け、自分で考えることの大切さを教えようとしている。もちろん、選択科目を自分に合わせてとることは悪いことではない。

外国語も必修9単位から2単位に減らされ、発音記号や筆記体で英語を書くことなどは全く習っていない。大学教師が黒板に筆記体で英語を書いた時、最近の学生がどんな反応を示すのか、お気づきの先生も多いことだろう。

しかし、自分の国の歴史をまともに教えない教育を嘆いていても仕方がない。191番目の国連加盟国がスイスであり、現在でもオリンピックに参加する国が200か国を越えていないのに、世界にはなぜ6000もの言語があるのかを教えると、学生の目が輝いてくる。英語や日本語はその中の1つの言語でしかないし、それぞれの国に、何と300もの言語が存在することになる。インドには19もの公用語があり、英語はその内の1つにしかすぎないし、またシンガポールにはマレー語、中国語、タミール語と英語が公用語として存在していると説明すれば、驚いた顔をする。

最近の大学生は、あまり本を読まないし、無気力で、「ケータイを持ったサル」のような幼稚な存在になっている、と批判されている。が、一方で、コンピュータを操り、ホームページを開き、ケータイで瞬時にメールの交換をしている。多量の情報をインターネットで手に入れていることは、レポートを書かせたらすぐ分かる。昔の学生と比べ、映像を用いて発表させたり、イラストを描かせたりしたら信じられないような力を発揮する。

そうした新しい力を引き出すような英語のテキストができないだろうか、という要望が若い大学教師から出された。そこで、まずインターネットから素朴な質問の「なぜ」に答える英文を集めてみようということになった。英文をインターネットで引き出してくれたのは、京都学園大学などで非常勤講師をしている川田伸道さんと、コンピュータの便利さを私のような年寄り教師に論より証拠とばかりに示してくれた。他に、大阪市立大学などで非常勤講師をしている福田圭三さん、大阪産業大学などで非常勤講師をしている霜鳥慶邦さん、さらに関西看護専門学校などで非常勤講師をしている山本智弘さん、京都女子大学で非常勤講師をしている中田智子さんに協力をいただいて、杉山、岡野、川田で責任編集をしたのがこのテキストである。さらに、文法解説の用語の統一や、新しい言語学習理論の観点からテキスト全体のチェックをテンプル大学 JAPAN 大学院博士課程で研究を続けている小川享子さんに、また、英文校閲は Glenn T. Gainer さんをお願いした。

やさしくて内容のあるもの、「トリビアの泉」的「なぜ」にこだわった英文を探してみたものの、実際に、14 Unitsにまとめてみて、全体としては語彙のレベルが高すぎたようだ。もちろん、Basic Readingに選んだ英文は短い。Cultural Literacy（文化的基礎知識）を教えようというコンセプトで編集したのだが、日本人学生が、スポーツや科学や歴史や迷信といった人間が創り出した culture にどの程度興味を持ってくれるのか、それは分からない。ただ、こうした知識がないと、アメリカの大学に入学することを前提にした TOEFL の試験で500点以上を取ることにはできない。もちろんのこと、イギリスやニュージーランド、オーストラリアの大学に入学する時に受験する IELTS (International English Language Testing System) で6以上の成績を取ることにもむずかしい。

このテキストは、Notes と Build Up Your Vocabulary で、英単語の意味が学べるように工夫されている。むずかしい英単語は日本語に置き換えて理解することも大切である。ただ、culture を「文化」と覚えているだけでは、実は、culture を理解したことにはならない。江戸時代から明治時代にかけて、society を「社会」と訳し、company を「会社」と訳した昔の人たちの苦勞を学んでほしい。culture の反意語は nature だが、nature から連想されるのが、実は、enemy (敵) であることなど日本人には信じられないだろう。「自然」と「文化」が対立している概念であることすら日本人は認識していない。

私の務めている大学には、全国でも珍しい「文化政策学部」があるが、「まちづくり」や「観光都市づくり」、さらには「アート・マネジメント」が文化政策であることは分かっても、最も重要な「文化」の1つに「言語」があり「スポーツ」があることをあまり意識していない学生がいる。「言語政策」や「スポーツ政策」をこれまで考えたことがないし、プロ野球の「球団」が「博物館」と同じく「文化遺産」だ、などと思っている日本人は少ない。このテキストの Unit の中で、ただ1つ、Animals の Unit だけが実は culture と対立する nature から採っている。Culture を19世紀半ばの日本人は、「耕作、育殖、教導修善」と訳したし、1886年にヘボンが出版した『和英語林集成』では、「学問、教育、風雅」と訳されている。

現在の英和辞典でも culture に「教養、栽培」の意味があげてあり、大学とはまさしくこの culture を教える場であったのだが、いつの間にか「教養」は敬遠され、「専門知識」のみを与える場となってしまった感がある。

14 の Unit には、それぞれの Unit に Grammatical Points として、「基礎文法」を示している。日本語と対照した場合、主語、時制、代名詞、比較級、関係代名詞、仮定法といった概念が日本語に欠けていることが分かる。そうした日英語の違いに目を向けながら、しかし、世界には6,000もの言語があり、日本語と同じ語順の言語が半分以上もあることを知ってほしい。

しかし、今や、英語が global language となり、このまま放っておくと21世紀中

に、90%もの言語が消えていくと断言する言語学者もいる。600語まで減っていく世界の言語の1つに、はたして日本語は入っているのだろうか。現在1億2000万人以上が話している世界で7番目に巨大な日本語という言語も、出生率が今後も1.29にとどまるなら、100年後には6000万人から4000万人しか話さない、より小さな言語になっていく。このテキストを利用した学生諸君は、文化の中で最も大切なものの1つ、言語というものを正面から見つめ直してもらいたい。

もう1つ、このテキストに書かれた英語は、いわゆるイギリス英語であることを断っておきたい。世界にはさまざまな英語があり、イギリス英語もまた one of the World Englishes であることを知ってもらいたい。centre や colour と今でもつづっている国もある。U.S.A. への興味と同時に、ぜひ U.K. (United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland) にも興味を持ってもらいたい。これがこのテキストを編集した者の心からの願いである。

最後に、本書の編集と出版にあたり、朝日出版社編集部の日比野 忠さんに大変お世話になった。この場を借りて、感謝の意を表したい。

2004年10月
京都にて
杉山 泰

Contents

Lesson 1	Language	2
	(本文) What do you call the @ symbol used in e-mail addresses? 「@マークの正式名称は？」	
	(文法) there is (are) 構文—「ある」・「いる」	
	(文化) 「ある」・「いる」の存在表現の日英語比較	
Lesson 2	Food	6
	(本文) Why do stale eggs float in a glass of water, but fresh ones sink? 「新しいタマゴはなぜ沈む？」	
	(文法) ①オノマトピア ②比較級 (the 比較級~, the 比較級~)	
	(文化) ①擬声語、擬態語が多い日本語 ②比較級のない日本語	
Lesson 3	Education	10
	(本文) What does the “http” part of web addresses mean? 「コンピュータの常識」	
	(文法) ①接続詞 ②英語の “it” と日本語の「それ」の違い	
	(文化) 省略表現	
Lesson 4	Fashion	14
	(本文) Why do suit jackets have sleeve buttons when there’s nothing for them to fasten? 「一体何を留めるの？」	
	(文法) ①受身構文 ② there is (no) 構文	
	(文化) 背広の語源	
Lesson 5	Superstition	18
	(本文) What is first-footing, and why is it traditionally a New Year custom? 「元旦の初客で1年が決まる？」	
	(文法) ①名詞+ that ~ (同格を示す that) ②関係副詞	
	(文化) Superstition—迷信	
Lesson 6	Animals	22
	(本文) Why are penguins only found in the Antarctic? 「ペンギンの世界の謎」	
	(文法) ①接尾辞 ②接頭辞 ③分詞	
	(文化) あらゆる生物の家としての地球 (環境問題関係の英語)	
Lesson 7	Health	26
	(本文) Why are sumo wrestlers so fat, and how do they get that way? 「力士の体重」	
	(文法) 分詞構文	
	(文化) ①単位の話 (長さ、重さ、温度などの単位) ②日本料理の英語	
Lesson 8	Proverbs	31
	(本文) Do you know proverbs with rhyme? 「韻を踏むことわざ」	
	(文法) ①仮定法 ② Basic English をマスターしよう!	
	(文化) ①韻とことわざ ②日本の文学作品の題名	
Lesson 9	Science	36
	(本文) Do the phases of the moon really affect our moods? 「満月の夜になると…」	
	(文法) ①接続詞の働き ②前置詞の表現「~から」(出所、出発点、起点、) ③組み分けの呼応表現 (one ... another ... など)	
	(文化) 「月」—‘moon’	
Lesson 10	Sports	41
	(本文) Are Olympic medals really made of gold, silver and bronze? If so, how much are they worth? 「金メダルは本当に金？」	
	(文法) ① all の用法 ②比較級の重要構文 (no +比較級+ than)	
	(文化) オリンピックと金メダル	

Lesson 11 Religion 46

(本文) **What happens to all the letters that children send to Father Christmas?**
「サンタクロースに送った手紙のゆくえ」

(文法) ①動名詞構文 (have a chance of ...ing) ②動名詞構文 (I have fun (in)... ing)

(文化) クリスマス・カード / 年賀状の書き方

Lesson 12 Laughter 50

(本文) **A Christmas present**
「首相の求めるクリスマスプレゼント」

(文法) ①現在分詞 ②動詞 + er

(文化) ①「～する人」 ②エスニック・ジョーク (ethnic joke)

Lesson 13 History 55

(本文) **Are we really a foot taller than people 500 years ago?**
「昔はみんな背が低かった？」

(文法) ①節と句 ②前置詞 + 名詞

(文化) ① Metric unit ② 12 - 12 進法と西欧文化

Lesson 14 Phrase 60

(本文) **Why does the gesture “thumbs up” mean an approval?**
「ブーイングに隠された恐るべき真実」

(文法) ①接続詞 ②定冠詞 “the” の働き

(文化) ジェスチャーの日英比較

Further Reading 64

1. **What is the origin of the @ symbol?**

「@マークの起源」

2. **Myth of the month: It's dangerous to swallow chewing gum.**

「チューイングガムを飲み込むのは本当に危険？」

3. **Is there any truth in the legend of Atlantis?**

「消えた大陸の謎」

4. **Why is hair coloured?**

「髪の毛 vs 紫外線」

5. **How did superstitions begin?**

「嘘だと言い切れない? 迷信の発生と影響力」

6. **Why do geese fly in a V formation?**

「ガチョウの飛行パフォーマンス」

7. **Why do we get a fever when we're ill?**

「発熱の仕組み」

8. **Proverbs and cultural literacy**

「ことわざで教養をたかめてみませんか？」

9. **What is the difference between astronomy and astrology?**

「星を見て人が考えたこと」

10. **Why do golf balls have dimples?**

「ゴルフボールにデコボコがあるのは何のため？」

11. **Why do we hang wreaths at Christmas when they are associated with death?**

「死を連想させるリースをクリスマスに飾るのはなぜ？」

12. **A duel of wits**

「知恵くらべ」

13. **How did the first explorers to enter Tutankhamun's tomb die?**

「呪いの蚊」

14. **Are you “in the pink”, “in the black” or “in the red”?**

「あなたは何色？」

Lesson 1

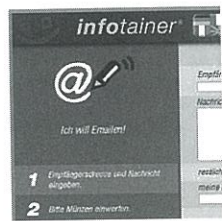
Language

Basic Reading

@マークの正式名称は？



What do you call the @ symbol used in e-mail addresses?



That little “a” with a circle curling around it that is found in e-mail addresses is most commonly referred to as the “at” symbol. Surprisingly though, there is no official, universal name for this sign. There are dozens of strange terms to describe the @ symbol. Several languages use words that associate the shape of the symbol with some type of animal.

Before it became the standard symbol for electronic mail, the @ symbol was used to represent the cost or weight of something. For instance, if you purchased 6 apples, you might write it as 6 apples @ \$1.10 each.

With the introduction of e-mail came the popularity of the @ symbol. The @ symbol or the “at sign” separates a person’s online user name from his or her mail server address. For instance, joe@uselessknowledge.com. Its widespread use on the Internet made it necessary to put this symbol on keyboards in other countries that have never seen or used the symbol before. As a result, there is really no official name for this symbol.



Notes

refer to A as B 「AをBと呼ぶ」 term 「言い方」 associate 「連想する」 electronic mail = e-mail 「Eメール」 represent 「表わす」 purchase [pɑ:tʃəs] 「買う、購入する」 popularity 「普及」 server 「サーバー」 widespread 「広範囲に及ぶ」 make it necessary to... 「～することを必要にさせる」

2 Eye-opening Facts

Check Your Understanding

- @という記号は、Eメールで使用される前は、何を言い表わすために使われていましたか。
- Eメールで使用される際、@はどんな働きをしていますか。
- @に正式の名称がないのは、どんな理由によるものと考えられますか。



Build Up Your Vocabulary

次の(1)～(5)の単語の意味を表わしているのは、以下のa)～e)のどれですか。

(1) universal (2) standard (3) associate (4) popularity (5) refer to

- () a) the state of being liked or supported by many people
- () b) true or suitable in every situation
- () c) to form a connection in your mind with different people or things
- () d) accepted as normal or usual
- () e) to mention or speak about someone or something

Grammatical Points

there is (are) 構文 ▶▶ 「ある・いる」

「机の上にペンがあります」など、ものがあることを言う時に使われるのが there is (are) 構文です。上の例なら、There is a pen on the desk. になります。there is (are) 構文は、普通、新しい情報を提示する時に使われます。したがって、既知の情報を示す

時には、通常この構文は使われません。

先ほどの例で言うと、「そのペンは机の上にあります」なら、The pen is on the desk. となります。日本語では、新しい情報は「～が」で、既知の情報は「～は」で提示しますが、there is (are) 構文は、ちょうど日本語の「～が」に対応します。また there is (are) 構文は、「もの」だけでなく、「人」の存在にも使うことができます。「昔々、その国には賢い王様がいました」は、“Once upon a time *there was a wise king in the country.*” と言います。「王様」が新たな情報として提示されている点にも注意しましょう。

 【確認問題 1】 次の日本語にあうように、() に適切な語を入れましょう。



- 彼の言ったことにもいくらかの真実がある。
There () some truth in what he said.
- この先によいレストランがある。
There () a nice () just ahead here.
- 望みなし (お先真っ暗)。
There is no ().
- コンピュータはどこか調子が悪いに違いない。
There () be something () with my computer.
- 昨日地震があった。
There () an () yesterday.

Cultural Differences


「ある」・「いる」の存在表現の日英語比較

日本語の存在表現「ある」と「いる」との区別は、「生きて動いている」ものと「死んで動かない」ものとを区別するのが特徴です。水槽で泳ぐ魚は「水槽にいる」のですが、スーパーに陳列された魚は「スーパーにある」のです。このように日本語では、対象の動きを意識することで「ある」と「いる」を区別しますが、英語の場合、こうした動きの意識に基づく区別はありません。動詞の区別はあくまで主語の人称によって行なわれます。

また、日本語の「ある」・「いる」は単なる存在を示すだけでなく、「犬には尻尾が

ある」、「彼には兄(弟)がいる」などのように、所有、関係を表わすことがあります。このような場合には、there is (are) 構文で表現できませんので、have (has) を使います。上の例文はそれぞれ“The dog has a tail.” “He has a brother.” となります。なお、存在・所有のどちらにも解釈できて、したがってどちらの構文でも表現可能なものもあります。

- 彼には優れた秘書がいる。
He **has** a good secretary.
- 彼女にはユーモアのセンスがある。
She **has** a sense of humour.
- 日本には梅雨がある。
We **have** a rainy season in Japan.
- 京都には神社仏閣が数多くある。
We **have** a lot of temples and shrines in Kyoto. = There are many temples and shrines in Kyoto.
- 1970年代にはエネルギー危機があった。
We **had** an energy crisis in the 1970s. = There was an energy crisis in the 1970s.

 【確認問題 2】 次の日本語の意味を表わすように、() に、適切な語を入れましょう。



- 熱がでていますか。
Do you have a ()?
- いい考えがありますか。
Do you have a good ()?
- このマーケットにはトイレがありますか。
Do you have a () in this market place?
- 今晚シングルルームがありますか。
Do you have a () room for tonight?
- 車の運転に自信がありませんか。
Don't you have () in your driving?